

平25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	わいわい！がやがや！にぎわいの麻績村を取り戻そう事業
事業主体 (連絡先)	麻績村 (麻績村教育委員会 電話 0263-67-4858)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト/ハード
総事業費	3,517,500円 (うち支援金: 3,517,500円)

事業内容

・登録有形文化財「麻績学舎」活用の拠点施設で、さまざまな交流や伝統文化の継承を行うことによって「にぎわいの麻績村」を取り戻す。子どもたちの体験型学習支援を行う、村内グループ「昔の遊び」や村内小学生、一般ボランティアが、参加して「昭和時代の椅子」キットを組み立てるなど、協働作業による「昭和の教室」再現作業を実施。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

・さまざまな世代で、交流しながら「教室復元」を行うことにより、世代間の絆が深まった。
・高齢者から「昭和の時代の教室」の話聞くことにより、小学生の歴史、文化への関心が深まった。
・自分たちの手で椅子等の製作に係る事により、施設への愛着がより強くなった。
・「麻績学舎」利用方法への夢を参加者で語り合うことにより、施設利用促進につながった。

【目標・ねらい】

- 世代間の連携を深める
- 施設への愛着を高める
- 歴史・文化への関心を深める
- 今後の施設利用促進

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

・本施設の利用目的の一つとして今後小・中学生を中心とした体験型学習の会場とする予定。子育て支援の一環として、放課後や休日に体験型学習を行っており、内容により村内外の支援グループが加わる。世代間交流や子どもへの伝統文化の継承の場として充実した活用を行っていく。
・村外在住の村出身者や、聖高原の別荘在住者など、村外者にも懐かしい施設として、同級会会場などに利用してもらうことにより交流を深め村の活性化につなげたい。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある